

最近の「造園修景」誌の目次 (No.112 -120)

No. 年月	テーマ	巻頭言	主論文	造園修景の旅ほか	本部便り、支部便り	行事予告
112号 2010.6	造園の技を伝える	伝統的日本庭園に生物多様性保全の先駆けを見る 東京都市大学環境情報学部 教授 涌井史郎	庭と生物多様性 京都大学地球環境学 教授 森本幸裕 きしわだ自然史資料館 学芸員 村上健太郎 信州大学農学部 教授 大石善隆	造園修景の旅、鹿児島	(本部) 理事会。評議員会の報告 支部長会議の報告 委員会の開催報告 研修会の報告 (支部) 宮崎県支部	No31 都市緑化のための土壌・農薬・病害虫対策研修会 No35 造園夏期大学開催要領
113号 2010.9	造園の技を伝える	業務空間の造園 東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授 鈴木誠	業務空間の造園 (オフィス空間のランドスケープ) (株)N.L.A 代表 西田正徳	造園修景の旅、宮城県	(本部) 第1回総務委員会と第1回協会のあり方検討特別委員会の報告 (支部) 鹿児島県支部 茨城県支部 平成21年度、平成22年度	No32 伝統庭技研修会
114号 2011.3	造園の技を伝える	緑だけでははじまらない 設計組織 PLACEMEDIA・パートナー 奈良女子大学住環境学科 教授 宮城俊作	業務空間の造園-2 (オフィス空間のランドスケープ) (株)戸田芳樹風景計画 代表 戸田芳樹	造園修景の旅 「 ^{うま} く ^{くに} 美し国 三重」のご案内	(本部) 事業委員会、協会のあり方検討特別委員会、総務委員会、広報委員会の報告 伝統庭技研修会、東洋庭園文化研修会の報告 (支部) 福岡県支部 兵庫県支部	No32 都市緑化のための土壌・農薬・病害虫対策研修会

115号 2011.6	: 国際交流編	「ジョナサン・ミュウラー(アメリカ造園家協会会長)を迎えて」 (一財)日本造園修景協会会長 杉尾伸太郎	「米国造園界の状況について」 アメリカ造園家協会(ASLA)会長 ジョナサン・ミュウラー	「ジョナサン・ミュウラー懇談会概要」本部事務局	(本部)同報告。会議の報告6件。 (支部)茨城県支部「モンゴル:桜の木植栽調査・視察報告書」事務局 寺田誠	No35 造園夏期大学開催要領
116号 2011.9	造園の技を伝える:国際交流編	「グローバル精神と造園の未来」 熊本県立大学理事長、(財)公園緑地管理財団理事長 蓑茂寿太郎	「日本の造園界を海外より顧みて」 President,SKUPInternational. Seattle/Shanghai 小林竈一	「兵庫県における最近の造園修景の話題」 支部長 橘俊充	(本部)委員会1件。研修会2件。 (支部)茨城県支部「上記の続編」。 岡山県支部「総会、研修会」	No33 伝統庭技研修会
117号 2012.2	東日本大震災を考える	「陸前高田市:希望の松保護対策始末記—高田松原の復興に向けて」 (財)日本緑化センター専務理事 前田博	「大震災の体験—現場での対応」 藩祖伊達政宗甲霊屋(財)瑞鳳殿常務理事 大崎啓一 「東日本大震災の被害状況と復興に向けて」 仙台市震災復興本部震災復興室主幹 岡本一郎	「東日本大震災の復興に思う」—社叢の保全活動で地域コミュニティの再生を— NPO法人社叢学会理事 糸谷正俊	(本部)報告「(一財)日本造園修景協会の今後のあり方についての検討」。 委員会2件。研修会2件。 (支部)岡山県支部「中国地区4県合同研修会」 東京都支部「リレー講演会・東日本大震災と今後の街づくり」	No29 東洋庭園文化研修会。 平成24年度研修計画4件。 No33 都市緑化のための土壌・農薬・病害虫対策研修会。 No36 造園夏期大学。

118号 2012.6	日本造園修景協会の今後のあり方	「造園人のこれからの組織」 (一社)日本公園緑地協会副会長 有路信	「日本造園修景協会の未来への提言」 東京都市大学環境情報学部教授 涌井史郎 「原点を見つめさらに向上を」 全国一級造園施工管理技師の会前会長 加勢充晴 「日本造園修景協会と造園修景分野の今後のあり方について」 兵庫県県土整備部参事 橘俊充 「日本造園修景協会の今後のあり方・みどり環境の発展を」 (一社)ランドスケープコンサルタンツ協会会長 枝吉茂種	(一財)日本造園修景協会の今後のあり方について(答申)」 24. 3.1 協会のあり方検討特別委員会	(本部)理事会3回、評議員会1回。委員会5件。研修会1件。 (支部)兵庫県支部「秋季視察研修会」	No36 造園夏期大学。図書紹介「フランス式庭園の魅力とル・ノートルの世界」杉尾伸太郎著。賛助会員名簿。
119号 2012.9	日本造園修景の今後のあり方	「おまかせではなく自家栄養の」植物に学ぶ」 明治大学農学部教授 輿水 肇	「造園界の今後のあり方」 (一社)日本公園緑地協会顧問 山田勝巳 「文化財と造園修景の今後のあり方」 日本城郭研究センター名誉館長 田中哲雄	東京都・都立庭園めぐり」 (公財)東京都公園協会常務理事 小川泰和	(本部)研修会3件。 (支部)石川県支部「秋季視察研修会」。	No34 伝統庭技研修会。賛助会員名簿。
120号	日本造園修景の今後のあり方	日本造園修景の今後のあり方 IFLA Japan 会長 高野文彰	中国におけるランドスケープデザインのビジネス (株)戸田芳樹風景計画 代表 戸田芳樹 日本のランドスケープ・アーキテクチャーに対するある西洋人の期待 DevaDesign 社 社長 ランドスケープアーキテクト 兵庫県立大学客員教授 マーニー・バーンズ	山形県 おらがマチ自慢 山形県支部 田中浅雄	(本部報告)研修会2件 「新年造園人の集い」の報告 日本造園修景の今後のあり方に関するアンケート調査結果	No31 東洋庭園文化研修会 No34 都市緑化のためのどじ用・農薬・病害虫対策研修会 No37 造園夏期大学